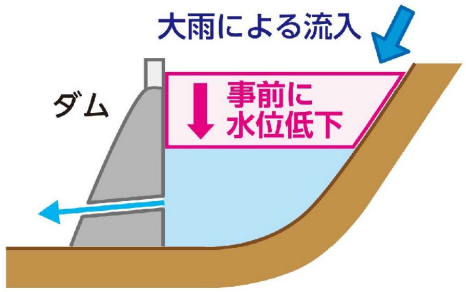
農業用ダムの洪水調節機能の発揮による下流域の湛水被害の防止

5か年加速化対策
災害時の効果発揮事例
国土強靱化 NATIONAL RESILIENCE

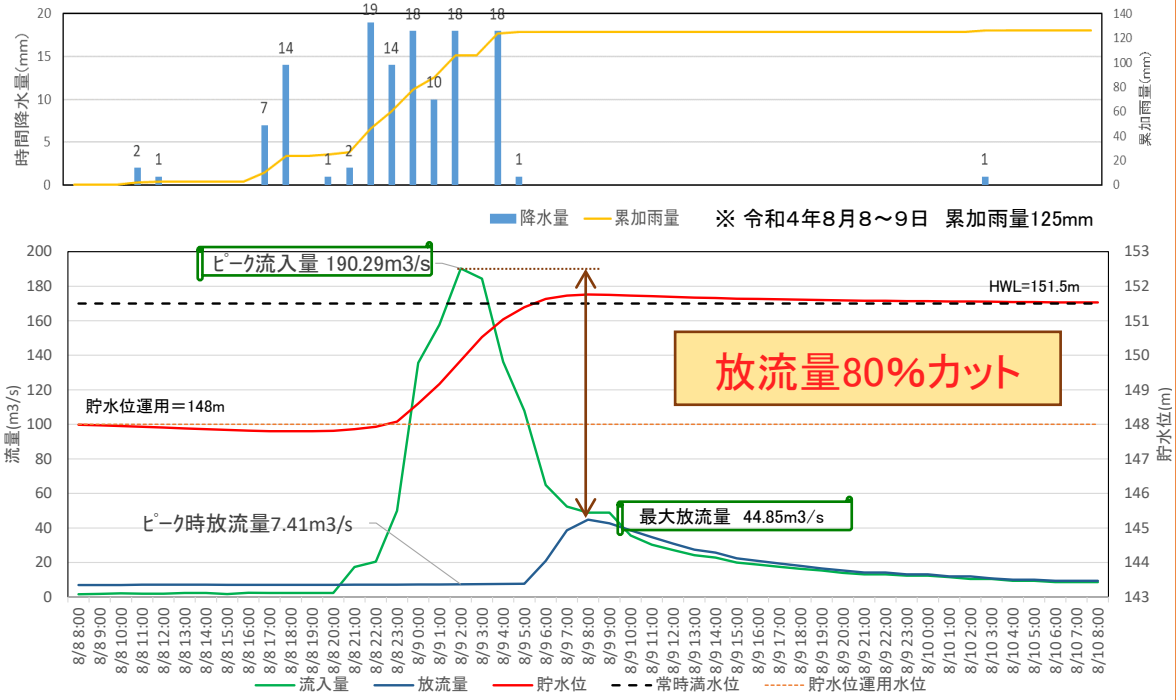
概　　要：流域治水対策に位置付けた農業用ダムの機能回復を図ることにより、令和４年８月の前線に伴う大雨では、ダム地点において累加雨量125mmを記録したものの、ダムの洪水調節機能の発揮により、下流域の湛水被害の防止に寄与した。
対 策 名 ：1-5 流域治水対策（農業水利施設の整備）＜5か年加速化対策＞【農林水産省】

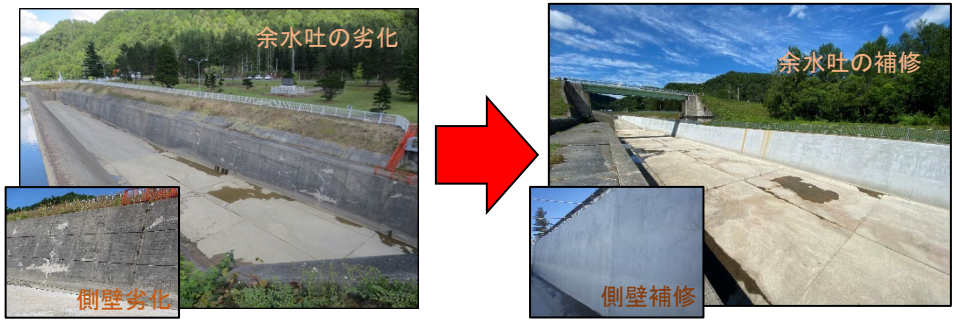
- 実施主体：国土交通省北海道開発局
- 実施場所：北海道樺戸郡新十津川町、雨竜郡雨竜町
- 事業概要：大雨時に農業用ダムの洪水調節機能を発揮し湛水被害を防止できるよう、老朽化により機能低下した尾白利加ダムの余水吐を補修した。
- 事業費：13億円（うち5か年加速化対策3.2億円）
- 災害の外力、被害と効果：令和４年８月の前線に伴う大雨では、累加雨量125mmを記録したが、事前放流等により洪水調節機能を発揮し、下流への放流量を約80%カットした。
  　この他、ダムの機能回復により、農業生産性の維持及び農業経営の安定が図られている。



事前放流等のイメージ図







【対策前】　【対策後】

※余水吐：貯水池に流入する流水の一部を下流河道へ安全に流下させる等の機能を持った放流設備。洪水吐と同じ。